

科目名	ビジネスマナーⅡ（前期 30 時間（90 分/コマ）） 必修 ・選択
担当教官	中根美沙（実務経験：北海道国際航空(株)、(株)エアージャパン ともに客室乗務員業務）
学科・学年	航空ビジネス科 2年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>グランドハンドリング・空港貨物スタッフなどエアライン業界を目指す学生たちが現場に出た際に役立つ社会人としてのマナーを身に付けることを目的とする。社会人として、相手の立場に立った考え方と行動が出来るように学習を進めていく。</p> <p>二年生は、これから控える就職活動、そして社会人への準備を完了する為に言葉遣い・マナー・接遇・立ち居振る舞いを完璧に磨き上げる。</p> <p>授業は主に秘書検定のテキストを使用し、社会人として必要な資質やビジネスマナーを学ぶ。また、問題集を解きながら学びが自分のものとなるようにし、秘書検定2級・準1級の取得を目指す。（演習）</p>
学修内容 （授業計画） 90分/コマ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人としての意識と求められる資質について 2. 社会人に必要な7つの心がけと仕事に取り組む姿勢について 3. 敬語の復習と応用 4. 大人が使いたい慣用句と四字熟語の意味と使い方 5. 社会人が使うビジネス外来語 6. 人間関係を良好に保つ話し方と言葉遣い 7. 時事用語と略語 8. カタカナ用語と航空業界で役に立つ業界用語 9. 用語の復習と確認問題 10. 受発信業務と秘文書の取扱いについて 11. ビジネスメールのマナー 12. 電話対応と来客対応について①（マナーと基本のルール） 13. 電話対応と来客対応について②（ケーススタディ） 14. 受付とご案内の基本（廊下・階段での誘導、エレベーター、ドアの開閉） 15. 前期のまとめと問題演習
使用テキスト ・教材等	秘書検定2級よく出る問題！集中レッスン、秘書検定実問題集2級
成績評価方法 及び 基準	筆記試験において60%以上正解で合格とする。
授業時間外 に必要な 学修内容	正しく美しい日本語が身に付くよう、日頃から言葉遣いや敬語の使い方に注意しながら話すよう心掛けること。普段の生活でマナーを活かせるよう意識して過ごすこと。
履修に 当たっての 留意点	エアライン業界を常に意識し、相手の立場に立って物事を捉え、行動できるようにすること。また社会人として必要なビジネスマナーを身に付ける。

科目名	航空貨物概論（後期 30 時間（90 分/コマ）） 必修・ 選択
担当教官	山本鉦一郎（実務経験：36 年間 ANA、JAL、NCA JAPAN 等で航空業務全般に携わる）
学科・学年	国際エアライン科 2 年
講義概要 （到達目標 及び 授業の方法）	<p>国際航空貨物基礎知識を学ばせる事により、航空会社を初め、国際航空貨物業界で幅広く活躍できる国際人としての人材育成を目的とする。</p> <p>本科に於いては、航空貨物の取り扱いに関する、国際航空貨物運送状の機能運送状の構成、作成の仕方。及び空港における輸出入貨物に要する諸施設について学ぶ。</p> <p>更に、航空貨物業務の詳細実態を DVD で紹介し、業務内容が容易にイメージ出来るように指導。（講義）</p>
学修内容 （授業計画） 90 分/コマ	<p>IATA ディプロマ基礎の教材、Textbook を主に授業を進める。 授業数：①～⑮</p> <p>①～③ 輸出入貨物に要する諸施設並びに航空機への搭降載器材。P299～P326。</p> <p>④～⑥ 航空会社による貨物の受託要件、貨物の内容について、P339～。危険物内容について、生きた動物について、P396～。</p> <p>⑦ 航空貨物予約の手続きについて、P449～P464。</p> <p>⑧～⑫ Administrative Automation, P467～。 Physical Handling Automation, Cargo2000。 Future Development in Cargo Automation ～P514 マデ。</p> <p>⑬～⑮ 国際航空貨物運送状（AWB）、全般について P723～P767 マデ。 運送状の機能と役割。 運送状の構成。 運送状の作成等。</p>
使用テキスト ・教材等	IATA ディプロマ基礎教材、Jafa 専門用語集、エアカーゴマニュアル 2014、
成績評価方法 及び 基準	後期筆記試験結果に授業態度、出席日数等を加味し評価する
授業時間外 に必要な 学修内容	IATA-TACT ルールブック、航空貨物 Q&A
履修に 当たっての 留意点	プリント資料、パワーポイント資料、DVD-ANACGO、

科目名	エアライン業界研究 II (前期 30 時間 (90 分/コマ)) (必修) 選択
担当教官	山本鉦一郎 (実務経験 : 36 年間 ANA、JAL、NCA JAPAN 等で航空業務全般に携わる)
学科・学年	航空ビジネス科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	航空業界の歴史や特徴、航空業界に身を置きたい者なら知っておきたい業務知識や情報など幅広く業界の実態について学習する。(航空会社の裏話なども交えて) (講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<p>授業数 : ①~⑮</p> <p>①~⑤ 国内航空各社を取り巻く情勢 P12~P42</p> <p>① 近年の航空業界、航空各社の事業規模。</p> <p>② 幹線とローカル線、物流の活性化。</p> <p>③ 航空会社の構造、新たなマーケット。</p> <p>④ 新規航空会社の参入、日本の国際線ネットワーク拡大へ。</p> <p>⑥~⑩ 航空会社の経営戦略 P46~P70</p> <p>⑤ 機体の調達、運航効率向上のために。</p> <p>⑥ 燃料の調達、行政の取り組み。</p> <p>⑦ 航空業界の共同事業、航空機整備。</p> <p>⑧ LCC のしくみ、航空機事故に備えて。</p> <p>⑪~⑮ 航空業界の国際勢力地図 P74~P100</p> <p>⑧ 各国の国際航空路線シェア、世界の空港ランキング。</p> <p>⑨ 国際航空運送協定、国際航空協定の基点。</p> <p>⑩ IATA、ICAO について。 ⑪ 世界に広がるオープンスカイ。</p> <p>⑫ 歴史ある航空会社揃い。 ⑬ 21 世紀のアシアの航空市場。</p> <p>⑭ 世界の航空大国。</p> <p>⑮ 勢いを増す LCC。</p>
使用テキスト ・教材等	よくわかる航空業界、航空会社驚きの裏事情、PowerPoint 教材/航空業界の歴史
成績評価方法 及び 基準	前期筆記試験結果、授業態度を加味した上で評価
授業時間外 に必要な 学修内容	海事プレス社著/貨物 Q&A、プリント資料、
履修に 当たっての 留意点	これからの LCC 航空業界の実情について。

科目名	エアライン業界研究 II (後期 30 時間 (90 分/コマ)) (必修)・選択
担当教官	山本鉦一郎 (実務経験 : 36 年間 ANA、JAL、NCA JAPAN 等で航空業務全般に携わる)
学科・学年	航空ビジネス科 2 年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	航空業界の歴史や特徴、航空業界に身を置きたい者なら知っておきたい業務知識や情報など幅広く業界の実態について学習する。(航空会社の裏話などについて) (講義)
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<p>1. 機種選びの事情 ①～⑨</p> <p>① 旅客機の世界では大は小を兼ねない</p> <p>② 何故アジアの航空会社はワイドボディ機を好む?</p> <p>③ 新型機に航空会社が求める「最優先の条件」とは?</p> <p>④ 航空会社が機体の全長を伸ばしたがる事情とは?</p> <p>⑤ 航空会社の「4 発機離れ」が進んでいる理由とは?</p> <p>⑥ 航空会社が超長距離機の開発を求めない理由とは?</p> <p>⑦ 航空会社が機体を退役させる判断の分かれ目は?</p> <p>⑧ 大手でも中古の航空機買って飛ばすことがあるのは?</p> <p>⑨ 航空機をもたなくても、航空機を飛ばせる仕組みとは?</p> <p>2. クラス設定の秘密⑩～⑫</p> <p>⑩ 座席クラスは、何故「4 つ」に増えたのか?</p> <p>⑪ エコノミー席は、満席でも利益がほぼ出ないって?!</p> <p>⑫ エコノミー席がどんどん減らされている事情とは?</p> <p>3. 空の常識を変えた LCC の戦術⑬～⑮</p> <p>⑬ 格安運賃で運航できる秘密は?</p> <p>⑭ なぜ「ポイント・トゥ・ポイント」型の運航を行っている?</p> <p>⑮ LCC が、「第二空港」を拠点とするもっともな理由とは? 着陸から離陸までの時間を大幅に短縮できる秘密 なぜ、規模の小さい LCC は遅延や欠航をだしやすい?</p>
使用テキスト ・教材等	航空会社 (驚きの裏事情)、航空業界の歴史 (パワーポイントにて解説)
成績評価方法 及び 基準	前期筆記試験結果、授業態度を加味した上で評価
授業時間外 に必要な 学修内容	海事プレス社著/航空貨物 Q&A、プリント資料
履修に 当たっての 留意点	日本航空、全日本空輸、日本貨物航空、(日本での IATA メンバー航空会社) についての理解。

科目名	IATA 航空貨物規則 II (前期 30 時間 (90 分/コマ)) (必修・選択)
担当教官	山本鉦一郎 (実務経験 : 36 年間 ANA、JAL、NCA JAPAN 等で航空業務全般に携わる)
学科・学年	航空ビジネス科 2年
講義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>航空貨物専門企業である NCA JAPAN での実務経験を活かし、学生たちに国際航空貨物基礎知識を学ばせる事により、航空会社をはじめ、航空貨物業界で幅広く活躍できる国際人としての人材育成に努めることを目的とする。</p> <p>IATA『ディプロマ基礎』コースの資格取得後、TACT ルール、及び航空貨物運賃に関する諸規則及び、AWB 内容についての理解と作成についての復習を行う。 (運賃問題に関する専門英語の理解と習得を基本目標に学習する) (講義)</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<p>IATA 航空貨物運賃の支払いに関する諸規則を英文教科書にて授業を行う。</p> <p>1. Transportation Charges (航空貨物運賃)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① The Air Cargo Tariff (TACT)、 IATA Area and Sub-area ② Chargeable Weight ③ Currencies。 ④ Rate and Charges ⑤ General Rate ⑥ Minimum Charges ⑦ General Cargo Rates (GCR) ⑧ Specific Commodity Rate (SCR) ⑨ Commodity Classification Rate (CCR) ⑩～⑫ Valuation Charges ⑬ Charge Collect Shipments ⑭～⑮ Disbursements、 Other Charges and Fees
使用テキスト ・教材等	<p>ディプロマ (航空貨物基礎) 取得時に使用の英文教科書。 パワーポイント教材による解説。</p>
成績評価方法 及び 基準	前期筆記試験結果に授業態度、出席日数等を加味し評価する。
授業時間外 に必要な 学修内容	<p>航空貨物専門用語集の習得。 世界地理並びに首都名を IATA スリーレーターにて学習しておくこと。</p>
履修に 当たっての 留意点	航空貨物運賃規則を専門英語で覚えること。(英文、英単語に慣れ親しむ為)

科目名	IATA 航空貨物規則 II (後期 30 時間 (90 分/コマ)) (必修) 選択
担当教官	山本鉦一郎 (実務経験 : 36 年間 ANA、JAL、NCA JAPAN 等で航空業務全般に携わる)
学科・学年	航空ビジネス科 2 年
義概要 (到達目標 及び 授業の方法)	<p>国際航空貨物基礎知識を学ばせる事により、航空会社を初め、国際航空貨物業界で幅広く活躍できる国際人としての人材育成に努めることを目的とする。</p> <p>IATA『ディプロマ基礎』コースの資格取得後、TACT ルール、及び航空貨物運賃に関する諸規則、及び AWB 内容についての理解と作成について復習得を行う。 (運賃問題に関する専門英語の理解と習得を基本目標に学習する) (講義)</p>
学修内容 (授業計画) 90 分/コマ	<p>1. PAYMENT OF RATES AND CHARGES AND CURRENCY CONVERSION</p> <p>① Sect. 5.1 General。 ① Sect. 5.2 Payment of charges。 ② Sect. 5.3 Payment of Charges Prepaid shipments。 ③~④ Sect. 5.4 payment of Charges Collect shipments。 ⑤ Sect. 5.5 Definition of Banker's rate of exchange。 ⑥~⑦ Sect. 5.7 Rounding off regulations。 ⑧ Sect. 5.8 Conversion。</p> <p>2. THE AIR WAYBILL</p> <p>⑨ Sect. 6.1 General。 ⑨ Sect. 6.2 Completion。 ⑩~⑮ Sect. 6.3 Completion examples。</p>
使用テキスト ・教材等	IATA ディプロマ基礎、英語辞書、専門用語集。
成績評価方法 及び 基準	後期筆記試験結果に授業態度、出席日数等を加味し評価する。
授業時間外 に必要な 学修内容	IATA-TACT ルールブック、IATA-運賃表。
履修に 当たっての 留意点	国際航空貨物運賃規則、PowerPoint (運賃練習問題)